

DUO International  
NIPPON QUALITY

# アジング



# 魚の巻

無料  
ご自由にお持ち  
帰りください

△これさえ読めばアジは釣れる△

TETRA WORKS

# Step.1

## タックルの準備

### ロッド

#### アジング専用ロッドで!

1g程度のリグを繰り返しキャストをするアジングだからこそ、繊細なアタリも察知できるアジング専用ロッドを使うのは、釣果アップを狙う上で欠かせません。ソリッドティップのロッドがオススメ!

### リール

#### 小型スピニングリールでOK!

1lb~2lb程度の細いラインを使うことの多いアジングは1000番~2000番代の小型スピニングリールがオススメ。ドラグは軽く引っ張るとラインが出ていく程度に設定しておきましょう。

### ライン

#### フロロカーボンラインを選ぼう!

アジング用としてフロロカーボン・ポリエチレン・PEと様々なラインが存在します。初めての方はフロロカーボンのラインがオススメ。多少の伸縮性があり、細いラインに慣れていないと扱いやすいです。メインラインの太さは軽量リグであれば、細い方が扱い易いので1.5lbから使ってみましょう。

また、不意に大きな魚がヒットすることもあるので、40cm程度のリーダー(3lb~5lb)を付けるようにしましょう。ラインを手で掴みランディングをした場合も、リーダーを付けることでライン切れが激減します。

#### 【ロッド】

アジング専用ロッド  
6ft以下が  
取り回しも良く  
使いやすい

#### 【メインライン】

フロロカーボン1.5lb  
慣れてきたら1lbへ  
細くするのがオススメ

#### 【リーダー】

フロロカーボン  
3~5lb  
40cm程度

#### 【ルアー】

スイナップヘッド(1g)  
+ワーム各タイプ

#### 【リール】

小型スピニングリール  
1000~2000番

【電車結び】メインラインとリーダーの結束方法 ※結び目は濡らしてしっかりと締め込みましょう。

①



②



③



④



⑤



## Step.2

### ポイント

#### アジの見つけ方

##### アジは回遊魚なので情報が大切！

アジは回遊魚で、季節や潮の干満に合わせて、群れで移動を繰り返しながらエサを探します。

一定の場所に留まらないアジだからこそ、どこに釣りに行けば良いのか分からぬこともしばしば…  
そんな時は、近所の釣具屋さんへ行き、釣果情報を確認するのがオススメです。

既に釣れているエリアがわかっている場合は、釣り場でアシングをしている人を探してみましょう。

まずは挨拶を交わして一緒に釣りをすると、アジを見つけやすくなります。アシングをしている人がいない場合は、エサ釣り師に声をかけるのもオススメ。アジ狙いのエサ釣り師がいれば、アジが回ってくる確率が高いと言えます。  
まずは挨拶をして会話をすれば、最近の情報などを教えてくれるかも！？



#### 常夜灯

##### 夜間は常夜灯周りが鉄則！

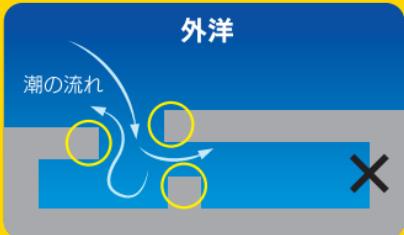
暗くなると水面を照らす常夜灯に小さなプランクトンや小魚が集まります。それらを捕食しにアジが集まるので、常夜灯周りは格好のアシングポイントとなります。アジは明るい側よりも光の届かない暗い側でエサを待ち構えているので、明暗部を狙いましょう。また、水深があるポイントでは水中にも明暗部が出来ています。足元の護岸・堤防の際に出来る影にもアジは潜んでいるので、こちらもしっかり狙いましょう。



#### 潮通し

##### 潮の流れが良い場所を選ぶ！

潮の流れに乗って回遊してくるアジを狙う場合は、潮通しが良い場所を選びましょう。小さな漁港よりも大きな漁港のほうが全体的に潮通しが良く、アジの回遊チャンスが多い。それに加えて水深もあるので、一度漁港内に入ったアジの群れは留り、しばらくの間釣れ続けることもあります。  
航空写真などで外洋が深そうなエリアに隣接している漁港を選ぶのもオススメ。



近年釣り場でのトラブルによる立ち入り禁止エリアが増えています。漁港で釣りをする場合は漁師さんの邪魔になる行為や路上駐車・進入禁止エリアでの釣り・ゴミの投棄はやめましょう。

# Step.3

## 釣り方

### レンジ

#### アジはレンジ(泳層)を探す釣り!

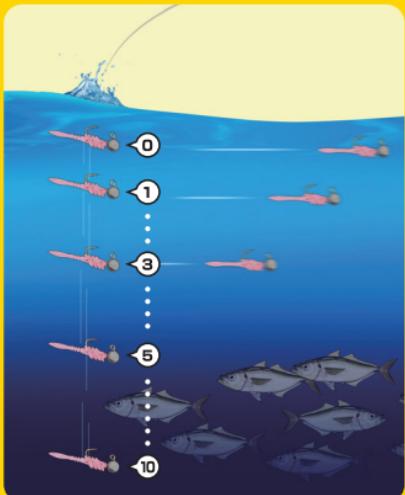
ルアーを投げて着水した瞬間をゼロとし、着底するまで数を数えるのが“カウント”。このテクニックを駆使して、アジの群れの泳層を探っていきましょう。

例) 10カウントで着底する場所では、5カウントで巻けば中層を泳がせられます。

●夜間は表層から狙うのがセオリー。常夜灯に寄ってきたエサを狙うアジは活性が高く、水面付近をウロウロとしている事が多い。まずは表層を狙って、反応がない場合はカウントを行い、徐々にレンジを下げていきましょう。

●日中のアジングは海底付近を狙いましょう。

物陰や海底付近の、アジが身を潜めてエサを待ち構えているような場所がオススメです。



#### 基本ロッドアクション ロッドを立てて喰わせの姿勢に!

アジを釣るには、“誘い”と“喰わせの姿勢”を繰り返し行います。

“誘い”とは、ワームを動かして存在感をアピールすること。

“喰わせの姿勢”とは、アピール中のワームを止め、

アジが捕食しやすい水平姿勢にさせること。

❶軽く上下させてワームを動かします。

❷その後、ロッドの動きを止め、その状態からゆっくりと

ロッドを立てます。ワームが水平姿勢になり、

アジが捕食しやすくなります。この間にバイトが発生。

❸以上を繰り返します。



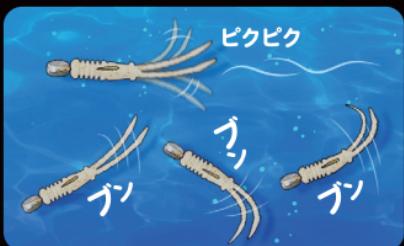
# Barney



バーニー ▶全長: 42mm ▶推奨ジグヘッド: スナイプヘッド SS, S, M, L

## オールラウンダー

パイロットワームとして使える万能ツインテールタイプ。シェイキング・ダート・タダ巻きと色々な使い方が可能なワームです。ヒットパターンがわからない時は、まず「バーニー」から使ってみましょう。



# Chop

チョップ ▶全長: 35mm ▶推奨フック: スナイプヘッド SS, S, M

## 甲殻類パターン

アジが甲殻類を捕食している時には「チョップ」が活躍。斜めについたリブはジグヘッドのセット方法により使い分けが可能となっている。

ストレート系ワームに反応しない場合はアピールの強い「チョップ」の出番！



- ①抵抗感UPでレンジキープ
- ②下からの水を受けてスローフォール



ピピン ▶全長: 45mm ▶推奨フック: スナイプヘッド SS, S, M, L

### ベイトフィッシュパターン

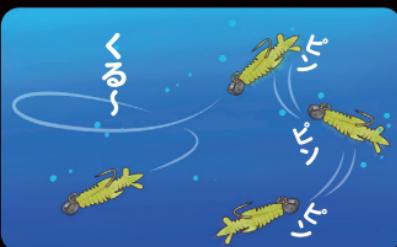
アジがベイトフィッシュを好んで捕食している時は「ピピン」が活躍。テール先端のリブが流れに漂うベイトフィッシュの微波動を演出し、アジの捕食本能を刺激。水面でライズしている時は表層を早巻きするのもオススメです。



メガロパ ▶全長: 20mm ▶推奨フック: スナイプヘッド SS

### 豆アジパターン

豆アジが好むプランクトン系波動を生み出すワーム。ロッドをシャープに細く何度もアクションさせてから、ピタッと止めましょう。「メガロパ」がスパイラルフォールし、焦らさせた豆アジがバイトします。

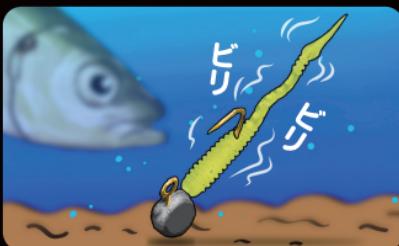




**デリー** ▶全長: 63mm ▶推奨フック: スナイプヘッドM, L

### 尺アジパターン

扁平ワイドボディのストレートタイプの「デリー」はボリュームがありながらも、アジが吸い込みやすい設計。ボトムに潜む尺アジ狙いでは、ボトムシェイクが効果的。ボトムで跳ねるようにアクションさせた後、ピタッと止める余韻アクションがオススメ。



### スナイプヘッド



PAT.P

サイズ	ウェイト(g)								
	0.15	0.3	0.5	0.8	1				
S	0.15	0.3	0.5	0.8	1				
M		0.3	0.5	0.8	1	1.2	1.5		
L		0.3	0.5	0.8	1	1.2	1.5	1.8	2
									2.5
									3



### 平打ちシャンク

フックの胴打ち加工はワームを傷める事なくズレを防止し、クリア系ワームのセット時はフラッシング効果を生み出す。



### 八の字ヘッド

ヘッド部分は八の字型を採用。これにより低重心と、アジがパイ出しやすい安定感抜群のスイム姿勢を実現。

## ソリッドカラーの出番

透明度がなく、強くアピールするカラー。

濁った場所や暗い場所での出番が多い。

アタリはあるのに、なかなかフッキングしない時に、  
しっかりワームを見せる目的で使用するのも◎



例) つぶつぶピンク

## クリアカラーの出番

透明度が高い分、アジに違和感を与えるずに喰わせたい時に  
オススメのカラー。シラスなどのペイトフィッシュを捕食  
しているときは特に効果的。

クリア・チャート・ピンク・ライムをローテーションすれば、一人だけ圧倒的に釣れ続けることも！？



例) イワシっこ

## UVカラーの出番

紫外線に反応して青紫色に発光することで

アピールするカラー。他のカラーで反応がない状況でも、  
UVカラーでは釣れるなんて状況も多い。昼間に限らず、  
夜間でも街灯が紫外線を発しているので効果的。

ただし、LED街灯は紫外線が少ないので覚えておきましょう。



例) レモンサイダー

## グローカラーの使い分け

グローカラーにもグリーン・ブルー・点発光と種類がある。

グリーン発光は全体的に優しく光るのに対して、  
ブルー発光はアジから見ると強烈に光って見えている。

点発光は夜光虫・アミパターンで活躍するので

必ず持っておきましょう。

